

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

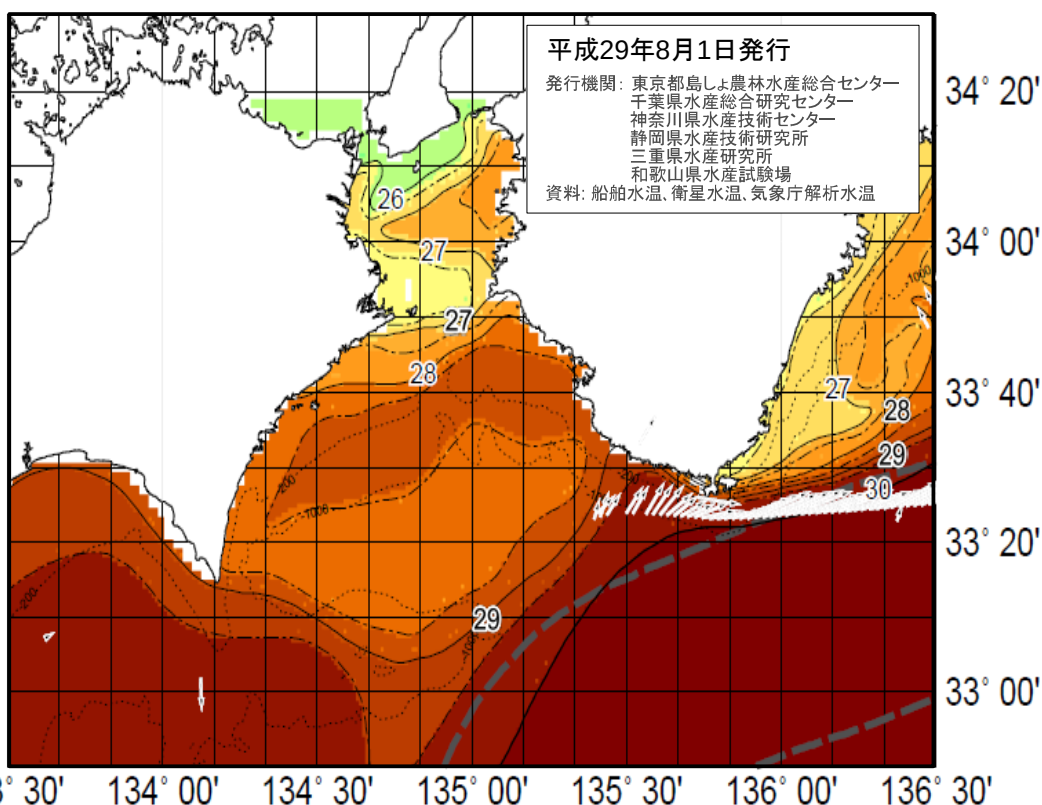
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、九州・四国沖で大きく離岸しており、室戸岬沖では引き続き「著しく離岸」、潮岬沖では前週時点の「接岸」から一時「やや離岸」となったが8月1日現在再び「接岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道で25℃～27℃台、海部沿岸で26℃～28℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みか高めの30℃台となっている。

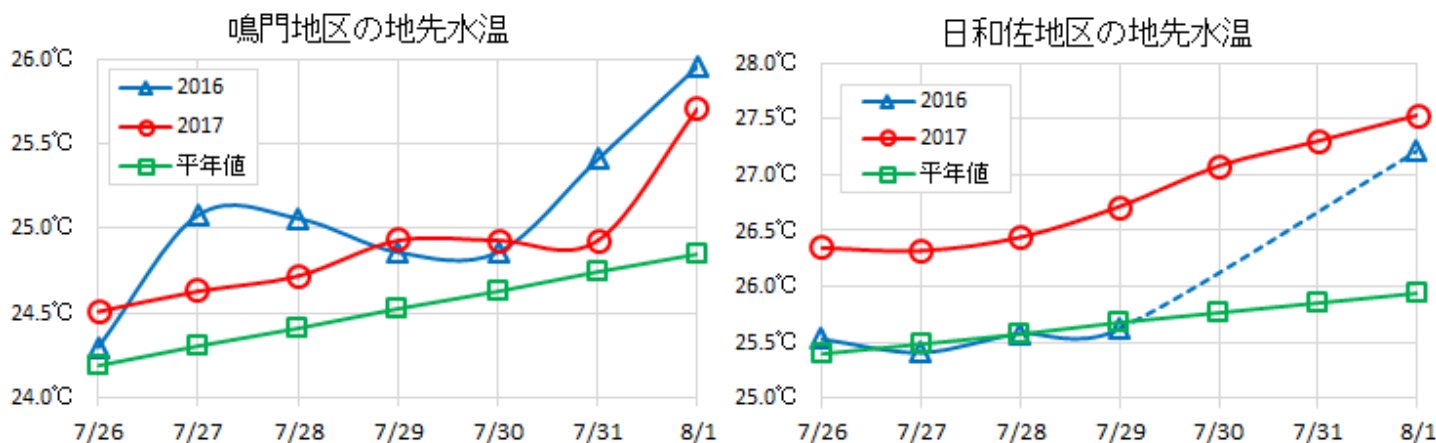


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月26日～8月1日)

鳴門地区の地先水温は、「平年並み」の24.5℃～24.9℃で推移していたが、8月1日には「やや高め」の25.7℃となった。

日和佐地区の地先水温は、「やや高め」～「高め」の26.3℃～27.5℃で右肩上がりに推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(8月2日～8月8日)

黒潮は、室戸岬沖では引き続き「著しく離岸」、潮岬沖では離岸傾向で「接岸」～「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「やや高め」～「高め」の25℃台後半～26℃台、日和佐地区では「やや高め」の27℃台～28℃台前半で推移する見込み。

漁況 2017年7月24日～7月30日(旧暦閏6月2日～6月8日)

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが大きく減って54ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って0.4ト、タチウオも減って特大主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが前週並みの6.5ト、タチウオも前週並みの特大主体に2.1ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく減って大主体に0.6ト、マアジが増えて小小主体に0.4ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って7.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、マルソウダが大きく増えて1.2ト、カンパチが増えて0.3ト水揚げされた。

延縄では、カサゴが特大主体に前週並みの0.5ト、アカムツが大きく減って0.3ト水揚げされた。

小型定置網は、台風の影響等で27日以降操業がなく、水揚げは減って、マアジが小小主体に0.3ト、かます類が小小主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	135	シラス	54,000	400		↘↘
	釣り	22	イサキ	373	17		↘
		25	タチウオ	233	9	特大主体	↘
	延縄	71	ハモ	6,498	92		→
		81	タチウオ	2,135	26	特大主体	→
		22	サワラ	201	9		↘
		20	ゴマサバ	105	5	大主体	↗
	小型定置網	24	イサキ	600	25	大主体	↘↘
		21	マアジ	384	18	小小主体	↗
		25	カンパチ	209	8		↗
		27	マダイ	208	8		→
		24	ブリ	200	8	つばす主体	→
		32	カワハギ	164	5	大主体	→
	底びき網	58	ハモ	7,163	124		↘
		42	えそ類	1,585	38		↗↗
		44	いとより類	287	7		↗
		28	マダイ	185	7		↗↗
28		マアジ	129	5	特大主体	↗↗	
23		カワハギ	116	5	大主体	↗↗	
海部沿岸	釣り	40	マルソウダ	1,164	29		↗↗
		5	カンパチ	266	53		↗↗
		26	イサキ	123	5	大主体	↘
	延縄	16	カサゴ	519	32	特大主体	→
		27	アカムツ	323	12		↘↘
		19	キダイ	117	6		→
		15	いとより類	100	7	大主体	→
	小型定置網	14	マアジ	253	18	小小主体	↘
		10	かます類	247	25	小小主体	↘
4		カンパチ	102	26		↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘